

年間授業計画

東久留米総合 高等学校 令和8年度（2年次用）

教科 国語 科目 実用国語

教科：国語 科目：実用国語

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 組～組

教科担当者：（1組：永井）

使用教科書：（なし）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけさせる。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力、共感したり想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。

【学びに向かう力、人間性等】 言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 実用国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	表現の基礎、国語の基礎知識 【知識及び技能】 漢字検定に必要な知識を習得する 【思考力、判断力、表現力等】 学んだ知識を的確に活用する 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に知識を得て、新たな学びをする	指導事項 ・漢字検定に即した漢字の学習、ことわざ、四字熟語の学習 ・近代文学史 ・敬語の学習 ・グループワークを主とした言語活動	○	○	○	【知識・技能】 漢字検定に必要な知識を習得している 【思考・判断・表現】 敬語を実際の場面での確に使えるようになるグループワークにおいて自分の役割を理解し、適切に活動を進めることができる 【主体的に学びに向かう姿勢】 積極的に知識を習得し、活用するなかで、新たなものを得ようとしている	○	○	○	23
	定期考査（授業内）			○	○		○	○		1
2 学 期	表現の基礎、国語の基礎知識 【知識及び技能】 漢字検定に必要な知識を習得する 【思考力、判断力、表現力等】 学んだ知識を的確に活用する 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に知識を得て、新たな学びをする	指導事項 ・漢字検定に即した漢字の学習、ことわざ、四字熟語の学習 ・近代文学史 ・敬語の学習 ・グループワークを主とした言語活動	○	○	○	【知識・技能】 漢字検定に必要な知識を習得している 【思考・判断・表現】 敬語を実際の場面での確に使えるようになるグループワークにおいて自分の役割を理解し、適切に活動を進めることができる 【主体的に学びに向かう姿勢】 積極的に知識を習得し、活用するなかで、新たなものを得ようとしている	○	○	○	24
	定期考査（授業内）			○	○		○	○		1
3 学 期	表現の基礎、国語の基礎知識 【知識及び技能】 漢字検定に必要な知識を習得する 【思考力、判断力、表現力等】 学んだ知識を的確に活用する 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に知識を得て、新たな学びをする	指導事項 ・漢字検定に即した漢字の学習、ことわざ、四字熟語の学習 ・近代文学史 ・敬語の学習 ・グループワークを主とした言語活動	○	○	○	【知識・技能】 漢字検定に必要な知識を習得している 【思考・判断・表現】 敬語を実際の場面での確に使えるようになるグループワークにおいて自分の役割を理解し、適切に活動を進めることができる 【主体的に学びに向かう姿勢】 積極的に知識を習得し、活用するなかで、新たなものを得ようとしている	○	○	○	20
	定期考査（授業内）			○	○		○	○		1
										合計
										70

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2年次用）教科 国語 科目 選択古典探究

教科：国語 科目：選択古典探究 単位数：2 単位  
 対象学年組：第2学年 組～組  
 教科担当者：（A1組：川島）（A2組：高麗）（組：）（組：）（組：）（組：）  
 使用教科書：（「精選古典探究 古文編」東京書籍 「精選古典探究 漢文編」東京書籍）

教科 国語 の目標：  
 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけさせる。  
 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。  
 【学びに向かう力、人間性等】 言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 選択古典探究 の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	古典文法の学習 【知識及び技能】 助動詞の接続、意味を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 本文中での意味の識別ができる 【学びに向かう力、人間性等】 古典文法を積極的に学ぶことができる	指導事項 ・既習事項の復習 ・助動詞の用法の理解 ・問題演習			○	【知識・技能】 古典を読むために必要な文法の用法を理解し、語感を磨くことができる 【思考・判断・表現】 古典特有の表現を理解できる 【主体的に学びに向かう姿勢】 文法知識を的確に活用しようとしている	○	○	○	6
	「小野篁、広才のこと」 【知識及び技能】 必要な語句の量を増やして語彙を豊かにする 【思考力、判断力、表現力等】 構成や展開的確に捉え、内容を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 進んで古典特有の表現に注意して展開の面白さを味わう	指導事項 ・文学作品の特徴や文学史の理解 ・助動詞や敬語の基本的な用法の確認 ・人物や場面の描写の内容の確認	○	○	○	【知識・技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やして語彙を豊かにしている 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開的確に捉え、内容を理解することができる 【主体的に学びに向かう姿勢】 進んで古典特有の表現に注意して展開の面白さを味わい、内容を正確に読み取ろうとする	○	○	○	7
	定期考査				○		○	○		1
	「不死之薬」 【知識及び技能】 必要な語句の量を増やして語彙を豊かにする 【思考力、判断力、表現力等】 構成や展開的確に捉え、内容を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 進んで古典特有の表現に注意して展開の面白さを味わう	指導事項 ・文学作品の特徴や文学史の理解 ・助動詞や敬語の基本的な用法の確認 ・人物や場面の描写の内容の確認	○	○	○	【知識・技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やして語彙を豊かにしている 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開的確に捉え、内容を理解することができる 【主体的に学びに向かう姿勢】 進んで古典特有の表現に注意して展開の面白さを味わい、内容を正確に読み取ろうとする	○	○	○	7
	「初冠」 【知識及び技能】 必要な語句の量を増やして語彙を豊かにする 【思考力、判断力、表現力等】 構成や展開的確に捉え、内容を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 進んで古典特有の表現に注意して展開の面白さを味わう	指導事項 ・文学作品の特徴や文学史の理解 ・助動詞や敬語の基本的な用法の確認 ・人物や場面の描写の内容の確認	○	○	○	【知識・技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やして語彙を豊かにしている 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開的確に捉え、内容を理解することができる 【主体的に学びに向かう姿勢】 進んで古典特有の表現に注意して展開の面白さを味わい、内容を正確に読み取ろうとする	○	○	○	7
定期考査					○	○			1	
	古典文法の学習 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	指導事項 ・既習事項の復習 ・助動詞の用法の理解 ・問題演習			○	【知識・技能】 古典を読むために必要な文法の用法を理解し、語感を磨くことができる 【思考・判断・表現】 古典特有の表現を理解できる 【主体的に学びに向かう姿勢】 文法知識を的確に活用しようとしている	○	○	○	6
	「焼捨」 【知識及び技能】 必要な語句の量を増やして語彙を豊かにする 【思考力、判断力、表現力等】 構成や展開的確に捉え、内容を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 進んで古典特有の表現に注意して展開の面白さを味わう	指導事項 ・文学作品の特徴や文学史の理解 ・助動詞や敬語の基本的な用法の確認 ・人物や場面の描写の内容の確認	○	○	○	【知識・技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やして語彙を豊かにしている 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開的確に捉え、内容を理解することができる 【主体的に学びに向かう姿勢】 進んで古典特有の表現に注意して展開の面白さを味わい、内容を正確に読み取ろうとする	○	○	○	8

2 学 期	定期考査				○	○							1
	「雪のいと高ふ降りたるを」「宮に初めて参りたるころ」 【知識及び技能】 必要な語句の量を増やして語彙を豊かにする 【思考力、判断力、表現力等】 構成や展開的確に捉え、内容を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 進んで古典特有の表現に注意して展開の面白さを味わう	指導事項 ・文学作品の特徴や文学史の理解 ・助動詞や敬語の基本的な用法の確認 ・人物や場面の描写の内容の確認		○	○	○	【知識・技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やして語彙を豊かにしている 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開的確に捉え、内容を理解することができる 【主体的に学びに向かう姿勢】 進んで古典特有の表現に注意して展開の面白さを味わい、内容を正確に読み取ろうとする			○	○	○	8
	「鴻門之会」 【知識及び技能】 必要な語句の量を増やして語彙を豊かにする 【思考力、判断力、表現力等】 構成や展開的確に捉え、内容を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 進んで古典特有の表現に注意して展開の面白さを味わう	指導事項 ・文学作品の特徴や文学史の理解 ・助動詞や敬語の基本的な用法の確認 ・人物や場面の描写の内容の確認		○	○	○	【知識・技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やして語彙を豊かにしている 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開的確に捉え、内容を理解することができる 【主体的に学びに向かう姿勢】 進んで古典特有の表現に注意して展開の面白さを味わい、内容を正確に読み取ろうとする			○	○	○	8
定期考査				○	○							1	
3 学 期	「光源氏の誕生」 【知識及び技能】 必要な語句の量を増やして語彙を豊かにする 【思考力、判断力、表現力等】 構成や展開的確に捉え、内容を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 進んで古典特有の表現に注意して展開の面白さを味わう	指導事項 ・文学作品の特徴や文学史の理解 ・助動詞や敬語の基本的な用法の確認 ・人物や場面の描写の内容の確認		○	○	○	【知識・技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やして語彙を豊かにしている 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開的確に捉え、内容を理解することができる 【主体的に学びに向かう姿勢】 進んで古典特有の表現に注意して展開の面白さを味わい、内容を正確に読み取ろうとする			○	○	○	8
	定期考査					○	○					1	
										○	○		合計 70





年間授業計画

東久留米総合高等学校 令和8年度（2年次用）教科

地理歴史 科目 日本史探究

教科：地理歴史

科目：日本史探究

単位数：4 単位

対象学年組：第2学年 選択F群、I群

教科担当者：(①：佐藤) (②：川崎)

使用教科書：(山川出版社 日本史探究『詳説日本史』/日探705)

教科 地理歴史

の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているか。諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したか。歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養ったか。多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	日本文化のあけぼの 古墳とヤマト政権 律令国家の形成	旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解する。 稲作伝播の様子などを踏まえて、弥生文化の形成を考察する。 律令国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察する。 端末を使用した小テストの実施	【知識・技能】 旧石器文化～弥生文化の形成、律令体制の状況などについて、多面的・多角的に考察し、理解している。 【思考・判断・表現】 考古資料や文献資料をもとに、旧石器文化～弥生文化の社会、律令国家の形成過程について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代の対外交渉の実態を明らかにしようとしている。	○	○	○	24
	定期考査		○	○		1	
	貴族政治の展開 院政と武士の躍進 武家政権の成立	摂関政治や平安時代の文化、武士の成長過程について理解する。 院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。 鎌倉時代の政治の動向、国際関係・経済・文化について考察する。 端末を使用した小テストの実施	【知識・技能】 摂関政治、院政、平氏政権、鎌倉幕府の成立過程や特色について、理解している。 【思考・判断・表現】 摂関政治、院政、平氏政権、鎌倉幕府の成立過程や特色について考察し、根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 平安時代の政治の在り方と文化との関係、鎌倉・室町時代の政治の在り方と文化との関係を考察することを通じて、そのつながりを発見しようとしている。	○	○	○	26
	定期考査		○	○		1	
2 学期	武家社会の成長 近世の幕開け 幕藩体制の成立と展開	南北朝の動乱から室町幕府の成立・安定・動揺について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。 大航海時代を踏まえたヨーロッパ人の東アジアへの進出、織豊政権の特色と意義とその影響を考察する。 幕藩体制の成立と展開について理解する。 端末を使用した小テストの実施	【知識・技能】 室町幕府の成立・安定・動揺と織豊政権、幕藩体制の特色と意義を理解している。 【思考・判断・表現】 室町幕府の成立から動揺と織豊政権、幕藩体制の特色と意義を、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 東アジアの国際情勢の変化、中世から近世の国家・社会の変容を考察し、時代を通観する問いを表現しようとしている。	○	○	○	30
	定期考査		○	○		1	
	幕藩体制の動揺 近世から近代へ 近代国家の成立 近代国家の展開	幕藩体制の動揺を、国際情勢の変化を踏まえて理解する。 国際環境の変化に着目して、日本の開国と幕府の滅亡、新政府の発足について考察する。 明治新政府により近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。 日清・日露戦争、第一次世界大戦の時期の政治の動向および外交政策の推移について理解する。 端末を使用した小テストの実施	【知識・技能】 幕藩体制の動揺や開国と幕末の動乱、明治新政府の近代国家の基盤形成、19世紀終りからの過程とその意義を理解している。 【思考・判断・表現】 幕藩体制の動揺や開国と幕末の動乱、明治新政府の近代国家の基盤形成の過程とその意根拠を明らかにして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 近世後期から近代国家成立・展開期の諸事象を、国際的な視点から考察し、政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。	○	○	○	30
	定期考査		○	○		1	
3 学期	近代の産業と生活 恐慌と第二次世界大戦 占領下の日本 高度成長の時代	資本主義国家の基礎が確立された過程を理解する。 恐慌による国内経済の動揺、日本の対外政策の推移、日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について考察する。 占領政策及び戦後の民主化政策、日本の独立について、その経過と内容を理解する。 独立後の日本国内政治、経済復興とその後の高度経済成長について、考察する。 端末を使用した小テストの実施	【知識・技能】 産業の発達と恐慌による国内経済の動揺、日中戦争から第二次世界大戦、戦後の諸改革、高度経済成長について理解している。 【思考・判断・表現】 産業の発達と恐慌による国内経済の動揺、日中戦争から第二次世界大戦、戦後の諸改革、高度経済成長について、根拠を明確にして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 産業の発達と恐慌による国内経済の動揺、日中戦争から第二次世界大戦、戦後の諸改革、高度経済成長について、課題を明確にして主体的に追及している。	○	○	○	25
	定期考査					1	
	合計					140	













年間授業計画 様式例

東久留米総合 高等学校 令和8年度（2年次用）教科

数学

科目 数学B

教科：数学

科目：数学B

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 組～ 組

教科担当者：（組：佐々木）（組：町田）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（数研出版 高等学校数学B）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会的事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学B の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活との関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	1章 数列	1 数列 2 等差数列 3 等比数列 4 和の記号 $\Sigma$ 5 階差数列	【知識・技能】 等差数列、等比数列や階差数列について理解し、それらの一般項や和を求めることができる。 【思考・判断・表現】 事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を数列の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	1章 数列	1 漸化式 2 数学的帰納法	【知識・技能】 漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表したり、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすることができる。 数学的帰納法について理解している。 【思考・判断・表現】 事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用するとともに、自然数の性質を見だし、それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較し多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を数列の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2 学期	2章 統計的な推測	1 母集団と標本 2 確率変数と確率分布 3 確率変数の平均と分散	【知識・技能】 数学的帰納法について理解している。 【思考・判断・表現】 自然数の性質を見だし、それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較し多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	9
	2章 統計的な推測	1 母集団と標本 2 確率変数と確率分布 3 確率変数の平均と分散 4 確率変数の和と積	【知識・技能】 標本調査の考え方について理解している。 【思考・判断・表現】 確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を統計的な推測の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1







年間授業計画

東久留米総合高等学校 令和8年度(2学年用) 教科

外国語 科目 総合英語 I

教科: 外国語 科目: 総合英語 I

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者: (1～6組: 職員、永田、関野)

使用教科書: (SPRINT3)

教科 外国語

の目標:

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
- 科目 総合英語 I の目標:
- ・長文読解を通して、言語の働きへの理解を深める。
  - ・書き手の意図を的確に理解し、自分の考えや意見を述べることができる。
  - ・文化に対する理解を深めよりよい社会の実現に向け行動する態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
読むことを通して、語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深め、状況に応じて適切に活用できるようにする。	様々な題材の英文から情報を収集したり、書き手の意図を理解したりする活動を通して、自分の意見を再構築して表現することができる力を養う。	書き手の気持ちに配慮しながら、背景にある文化に対する理解を深め、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 (書 き)	話 (書 き)	書					
1 学 期	(SRPINT 3) Unit 1'3 【知識及び技能】 文を構成する要素 完了形 【思考力、判断力、表現力等】 パラグラフの要約 文脈の把握 語句のつながり 【学びに向かう力、人間性等】 物語 説明文 メール	<語句> 単語・熟語・専門用語 <長文> 文の構成と段落、起承転結 内容理解問題 各設問に対する正解の導き方 <文法> 文を構成する要素 完了形	○	○	○	○	○	○	○	○	10
	定期考査										1
2 学 期	(SRPINT 3) Unit 4'6 【知識及び技能】 助動詞 不定詞 【思考力、判断力、表現力等】 パラグラフの要約 文脈の把握 読者の感情 【学びに向かう力、人間性等】 経済 スポーツ 環境	<語句> 単語・熟語・専門用語 <長文> 文の構成と段落、起承転結 内容理解問題 各設問に対する正解の導き方 英文和訳の仕方 空欄補充問題の解き方 <文法> 助動詞 不定詞	○	○	○	○	○	○	○	○	12
	定期考査										1
3 学 期	(SRPINT 3) Unit 7'9 【知識及び技能】 不定詞 【思考力、判断力、表現力等】 文の要旨のつかみ方 パラグラフの要約 文脈の把握 選択問題の比較の仕方と考え方 【学びに向かう力、人間性等】 ディスカッション 電気 環境	<語句> 単語・熟語・専門用語 <長文> 文の構成と段落、起承転結 内容理解問題 各設問に対する正解の導き方 <文法> 不定詞 動名詞	○	○	○	○	○	○	○	○	13
	定期考査										1
3 学 期	(SRPINT 3) Unit 10'12 【知識及び技能】 分詞 比較 【思考力、判断力、表現力等】 パラグラフの要約 文脈の把握 未知の語や特殊な表現の類推の仕方 【学びに向かう力、人間性等】 産業 科学	<語句> 単語・熟語・専門用語 <長文> 文の構成と段落、起承転結 内容理解問題 各設問に対する正解の導き方 英文和訳の仕方 空欄補充問題の解き方 <文法> 分詞 比較	○	○	○	○	○	○	○	○	14
	定期考査										1
3 学 期	(SRPINT 3) Unit 13'15 【知識及び技能】 関係代名詞 仮定法 【思考力、判断力、表現力等】 主題の捉え方 パラグラフの要約 文脈の把握 文全体の要約の仕方 同じ意味内容での書き換えの仕方 【学びに向かう力、人間性等】 伝記 教育 言語	<語句> 単語・熟語・専門用語 <長文> 文の構成と段落、起承転結 内容理解問題 各設問に対する正解の導き方 英文和訳の仕方 正誤問題の解き方 要約の仕方 英語の問いに対する英語での答え方 <文法> 関係代名詞 仮定法	○	○	○	○	○	○	○	○	16
	定期考査										1
合 計											
70											











高等学校 令和8年度 (2.3 年次用) 教科 外国語 科目 中国語

教科: 外国語 科目: 中国語 単位数: 2 単位  
 対象学年組: 第 2,3学年 組～ 組  
 教科担当者: ( 組: 池ノ谷 ( 組: ) ( 組: ) ( 組: ) ( 組: ) ( 組: )  
 使用教科書: (『李軾倫先生と学ぶ はじめての中国語』(NHK出版) ※プリント教材も適宜配布)

教科 外国語 の目標:  
 【知識及び技能】 本文の内容を読み取ったり、聞き取ったりするのに必要な基本的知識・技能を身に付ける。  
 【思考力、判断力、表現力等】 学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりできる。  
 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にペアで話し合ったり、発表しようとしている。また、学習について振り返りができる。

科目 中国語 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
①日本語や英語との比較を通して、中国語の言語的特徴を理解する。 ②学習した語法や語彙を使って適切な会話ができるようにする。	①中国語の文法・語彙を理解し、自ら伝えたいことを適切に表現できることを目指す。 ②会話練習を通して、相手の言っていることを理解できることを目指す。	①学習した語法や表現を用いて、中国語で積極的なコミュニケーションが行えるようにする。 ②中国語文化圏に対する歴史、文化に対する関心を広げ、異文化理解に対する健全な態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 ( や )	話 ( 発 )	書					
1 学 期	A 発音とあいさつ 【知識及び技能】 中国語の四声・母音・子音を理解し、ピンインの読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 四声の変調、中国語の発音ができるようになる。適切な挨拶表現を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだ表現を積極的に使うようになる。	・中国語の四声、ピンイン ・単母音、複母音、鼻母音の発音 ・子音の発音 ・基本的挨拶表現 ※プリント教材使用	○		○	○	○				12
	B 教科書第1課・第2課 【知識及び技能】 人称代詞、AはB構文を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 中国語で簡単な挨拶ができるようになり、是を使って言いたいことを自由に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 中国語の挨拶とごく基本的表現を通して中華圏の文化への関心を持つ。	・人称代詞 ・中国語のbe動詞の是 ・動詞、形容詞述語文 ※プリント教材使用			○		○				14
	まとめのテスト	筆記、リスニング、会話表現									2
2 学 期	C 教科書 第3課～第6課 【知識及び技能】 量詞、数字、年月日、金額などの中国語の数字の言い方と疑問文を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざま数字の言い方を聞き取り、適切な疑問文を作る。反復疑問文も理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 数字表現や疑問文を学ぶことにより中国特有の表現に関心を深める。	・量詞 ・二種類の疑問文 ・中国語の数字の言い方 ・“吗”を使う疑問文と反復疑問文 ※プリント教材使用	○	○	○	○	○			12	
	D 教科書 第7課～第9課 【知識及び技能】 所在の在と完了の了、中国語の比較表現、経験の言い方、“的”の用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 在と有を使って文を作る。比較や経験についての文を作る。 【学びに向かう力、人間性等】 中国語の表現の多彩さに目を向け、中国語文法に興味を持つ。	・所在の在 ・所有の有 ・動詞+“一下” ・跟～一样 ・过の使い方 ※プリント教材使用	○	○	○	○	○				14
	まとめのテスト	筆記、リスニング、会話表現									2
3 学 期	E 教科書 第10課～第12課 【知識及び技能】 中国語の助動詞、基本的な補語、状態の持続、使役文の言い方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 助動詞や補語を使って文を作り、簡単な会話ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 日本語や英語との比較を通して、中華圏の文化への理解をさらに深める。	・“能”、“会”、“要”などの基本的助動詞 ・方向補語、可能補語、程度補語 ・基本的な使役文 ※プリント教材使用	○	○	○	○	○				12
	まとめのテスト	筆記、リスニング、会話表現									2
										合 計	70



年間授業計画

東久留米総合高等学校 令和78年度

(芸術) 科目 素描

教科：(芸術) 科目：素描

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

教科担当者：

使用教科書：( )

教科 (芸術) の目標： 芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 素描	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようになる。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学期	オリエンテーション 透視図法	・指導事項 ・教材 ・道具の扱い方等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】を観察、ワークシート記入させる。 構想を実現するための手順や新しい技術を知り、柔軟に取り入れる姿勢を評価する。	○	○	○	2
	デッサンの基本 立方体・幾何形体デッサン 【知識及び技能】 構図、明暗、正確に形をとらえられる資質能力を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 しっかりとした構想を持ち、構想したことをまず絵と言葉で表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 構想を実現するための手順や新しい技術を知り、柔軟に取り入れることができる。	基礎的な技術を身につける。 一般的な作品制作の段階を知り、実践する。 しっかりとした構想を持ち、構想したことをまず絵と言葉で表現することを重視する。	【知識・技能】 構図、明暗、正確に形をとらえられる資質能力を評価する。 【思考・判断・表現】 しっかりとした構想を持ち、構想したことをまず絵と言葉で解釈を深める表現力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 構想を実現するための手順や新しい技術を知り、柔軟に取り入れる姿勢を評価する。	○	○	○	10
	定期考査						
	静物デッサン 【知識及び技能】 構図、明暗、正確に形をとらえられる資質能力を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 しっかりとした構想を持ち、構想したことをまず絵と言葉で表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 構想を実現するための手順や新しい技術を知り、柔軟に取り入れることができる。	模写の段階を知り、実践する。 しっかりとした構想を持ち、構想したことをまず絵ではなく言葉で表現することを重視する。	【知識・技能】 構図、明暗、正確に形をとらえられる資質能力を評価する。 【思考・判断・表現】 しっかりとした構想を持ち、構想したことをまず絵と言葉で解釈を深める表現力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 構想を実現するための手順や新しい技術を知り、柔軟に取り入れる姿勢を評価する。	○	○	○	12
2 学期	石膏デッサン 【知識及び技能】 構図、明暗、正確に形をとらえられる資質能力を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 しっかりとした構想を持ち、構想したことをまず絵と言葉で表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 構想を実現するための手順や新しい技術を知り、柔軟に取り入れることができる。	中級技術を身につける。 一般的な作品制作の段階を知り、実践する。 しっかりとした構想を持ち、構想したことをまず絵ではなく言葉で表現することを重視する。	【知識・技能】 構図、明暗、正確に形をとらえられる資質能力を評価する。 【思考・判断・表現】 しっかりとした構想を持ち、構想したことをまず絵と言葉で解釈を深める表現力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 構想を実現するための手順や新しい技術を知り、柔軟に取り入れる姿勢を評価する。	○	○	○	10
	定期考査						
	静物デッサン 【知識及び技能】 構図、明暗、正確に形をとらえられる資質能力を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 しっかりとした構想を持ち、構想したことをまず絵と言葉で表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 構想を実現するための手順や新しい技術を知り、柔軟に取り入れることができる。	中級技術を身につける。 一般的な作品制作の段階を知り、実践する。 しっかりとした構想を持ち、構想したことをまず絵ではなく言葉で表現することを重視する。	【知識・技能】 構図、明暗、正確に形をとらえられる資質能力を評価する。 【思考・判断・表現】 しっかりとした構想を持ち、構想したことをまず絵と言葉で解釈を深める表現力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 構想を実現するための手順や新しい技術を知り、柔軟に取り入れる姿勢を評価する。	○	○	○	12
	人物デッサン(自画像) 【知識及び技能】 構図、明暗、正確に形をとらえられる資質能力を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 しっかりとした構想を持ち、構想したことをまず絵と言葉で表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 構想を実現するための手順や新しい技術を知り、柔軟に取り入れることができる。	中級技術を身につける。 しっかりとした構想を持ち、構想したことをまず絵ではなく言葉で表現することを重視する。	【知識・技能】 構図、明暗、正確に形をとらえられる資質能力を評価する。 【思考・判断・表現】 しっかりとした構想を持ち、構想したことをまず絵と言葉で解釈を深める表現力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 構想を実現するための手順や新しい技術を知り、柔軟に取り入れる姿勢を評価する。	○	○	○	12
3 学期	石膏デッサン 【知識及び技能】 構図、明暗、正確に形をとらえられる資質能力を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 しっかりとした構想を持ち、構想したことをまず絵と言葉で表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 構想を実現するための手順や新しい技術を知り、柔軟に取り入れることができる。	中級技術を身につける。 一般的な作品制作の段階を知り、実践する。 しっかりとした構想を持ち、構想したことをまず絵ではなく言葉で表現することを重視する。	【知識・技能】 構図、明暗、正確に形をとらえられる資質能力を評価する。 【思考・判断・表現】 しっかりとした構想を持ち、構想したことをまず絵と言葉で解釈を深める表現力を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 構想を実現するための手順や新しい技術を知り、柔軟に取り入れる姿勢を評価する。	○	○	○	12
合計							70





年間授業計画 新様式

東久留米総合 高等学校 令和8年度（2次用） 教科

情報

科目 情報デザイン

教科：情報 科目：情報デザイン

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 選択

教科担当者：（望月）

使用教科書：（[情報705]情報デザイン）

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識についての理解

【思考力、判断力、表現力等】事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。

【学びに向かう力、人間性等】情報社会との関わりについて考えながら改善しようとする。

科目 情報デザインの目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報伝達やコミュニケーションと情報デザインとの関係について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	情報デザインの手法、構成、活用に関する課題を発見し、情報産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	情報デザインによる効果的な情報伝達やコミュニケーションの実現を目指して自ら学び、コンテンツやユーザインタフェースのデザインなどの構築に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	A デザインって何だろう ・デザインにとって大切なことは何かを意識してみる。 ・デザインが人間の生活のさまざまな目的を達成するための合目的な行為であることを理解する。 ・有意義なデザインにするためには、見た目のよさだけでなく、倫理観や社会的意識をもって、社会に及ぼす影響を考慮する姿勢が大切であることを理解する。 ・人間どうしのコミュニケーションの始まりはシンボルを共有するところから発展していったことを理解する。	・何のためのデザイン ・社会の中のデザイン ・デザインの手順 パソコン室の端末と1人1台端末	【知識・技能】 ・社会におけるデザインの役割や対象について理解している。 ・デザインのプロセスについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・人間中心設計のデザインを考察することができる。 ・デザインによる課題解決の事例を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・社会におけるデザインの実現を目指す役割について、自ら学ぶ姿勢を養っている。 ・デザインのプロセスを用いて、主体的に課題の発見や解決の振り返りに取り組もうとしている。	○	○	○	10
	B 何をデザインするのか ・情報があふれる時代の中で、情報の受け手としては必要な情報を選択し、送り手としてはわかりやすく表現して伝えることが必要であることを理解する。 ・絵文字から表音文字、粘土板から紙、印刷技術による情報の伝達と共有が、人類に大きな力を与えていったことを理解する。 ・コミュニケーションモデルを理解し、表現の文脈に合わせたメッセージを読み解く姿勢、送り手と受け手の間でどのような体験を共有できるかに配慮する姿勢が大切であることを理解する。	・何かを伝えるデザイン ・コミュニケーションのモデル	【知識・技能】 ・情報デザインの意義や役割、対象について理解している。 ・コミュニケーションモデルについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・効果的に課題を解決するための情報デザインを考察することができる。 ・情報の送受信をコミュニケーションモデルで説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報デザインの対象について、自ら学ぶ姿勢を養っている。 ・コミュニケーションのモデルを用いて、自らの情報伝達やコミュニケーションの活動を振り返り、改善しようとしている。	○	○	○	12
定期考査	考査		○	○		1	
2 学期	A デザインの造形要素と構成 ・造形の基礎となる要素「形態」と「色彩」を分析し、見る人の視点での心の動きを理解する。 ・基本形態（純粋形態）として点・線・面、さらには立体・空間の造形的意味を理解する。 ・配色を効果的に利用するため、色と光の関係、光の三原色、色の三原色、色の三属性など色彩の持つ意味を理解する。 ・形態と色彩の学びから見る人の視点でのさまざまな心理的な効果を理解する。	・形態 ・色彩 ・造形と心理 ・構成の基礎となる手法 ・コミュニケーションの演出	【知識・技能】 ・色彩を使った表現が人間の心理に与える影響について理解している。 ・造形が人間の心理に与える影響について理解している。 【思考・判断・表現】 ・造形や色彩が人間の心理に与える影響を考慮して、課題解決に向けて造形や色彩を適切に選択することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・造形や色彩の要素を考慮して、自ら情報伝達やコミュニケーションの活動を振り返り、改善しようとしている。	○	○	○	14
	B デザインの観察と検討 ・自然物や人工物、事象などを対象とし、目に見えぬ動きや見えぬ感性の変化を理解し、全体や部分の観察、時間の経過での変化のプロセスも学び、さまざまな観察の視点を理解する。 ・具象から抽象までの四つの視点を学び、効果的に表現する造形の手法や質感的表現を体験を通して理解する。 ・アイデアとは目的を果たすための工夫であると認識し、目的意識をもって現状を観察し、問題点を分析するプロセスを経てアイデアを出し合い、グループワークを通して思考を活性化していくことを理解する。 ・デザインを検討するための、情報収集の手法について理解する。 ・収集した情報をもとに、デザインのコセプトを考案するための手法について理解する。	・観察してみよう ・表現への過程 ・情報の収集 ・コセプトを考案する ・情報を組み立てる	【知識・技能】 ・観察の方法や視点について理解している。 ・観察の結果を表現するときの考え方について理解している。 【思考・判断・表現】 ・観察の方法や視点を変えて対象を観察することができる。 ・情報デザインの具体例から、造形の基本となる手法や表現技法を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察の方法や視点について関心をもち、ねばり強く観察に取り組もうとする。 ・造形や表現技法の視点から、自らの表現活動を振り返り、改善しようとしている。	○	○	○	14
3 学期	A デザインの活用 ・デザインが人の気持ちを動かす、それによって社会に影響を及ぼすことを理解する。 ・社会における情報デザインの役割を踏まえ、システムとしてのデザインを学び、デザインに関する権利についても理解する。 ・さまざまな人へ情報を届けるための手法や各メディアの違いを理解し、考える力を身に付ける。 ・スケッチ、ワイヤーフレーム、プロトタイプといったインタラクティブデザインの手順と考え方を理解する。	・デザインが目指すもの ・ビジュアルデザイン ・インタラクティブメディアのデザイン	【知識・技能】 ・情報デザインの役割やインタフェースの工夫、デザインにかかわる権利について理解している。 ・インフォグラフィックスやWebページなどメディアのビジュアルデザインについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・社会や身のまわりの情報伝達やコミュニケーションの課題について、発見することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・目的を踏まえ、情報デザインを用いた課題の解決に、主体的かつ協動的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	B 総合演習 ・学級新聞や、クラスのWebページ作成を通して、情報をよりよく理解してもらうための工夫の一つとしての情報デザインの意義を理解する。 ・グループワークを中心に、ショップのターゲット層をデザインを行い、ポスターやリーフレットなどさまざまなデザインが相互に関連し、統一されたメッセージを発信することを理解する。	・いろいろなメディアをデザインする ・ポスター、リーフレットをデザインする	【知識・技能】 ・お店と顧客をつなぐショップカードやポスターなどのコミュニケーションメディアや、Webサイトをデザインする技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・習得した知識や技能を活用してコミュニケーションメディアやWebサイトをデザインし、ショップの活性化の課題を解決することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・コミュニケーションメディアやWebサイトのデザインを自らの、情報メディアを用いたショップ活性化の課題解決に主体的かつ協動的に取り組もうとしている。	○	○	○	13
合計						70	





年間授業計画

東久留米総合 高等学校 令和8年度 (2,3学年選択用) 教科

商業 科目 マーケティング

教科: 商業 科目: マーケティング

単位数: 2 単位

対象学年組: 第2,3 学年 組~ 組 (選択)

教科担当者: (名取) (組: ) (組: ) (組: ) (組: ) (組: ) (組: )

使用教科書: (マーケティング (実教出版) )

教科 商業 の目標:

【知識及び技能】 ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質と能力を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスに関する課題を発見し、倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 マーケティング の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
マーケティングについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	マーケティングに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、マーケティングに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
マーケティングの概要 【知識及び技能】 ・マーケティングを学ぶ意義を理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代市場における課題を発見 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代市場においてビジネスを展開する力を養うため協働的に取り組む。	・マーケティングを学ぶ意義を理解させる。 ・現代市場の特徴を理解し、マーケティングの歴史、考え方や手順について学ぶ ・現代市場の課題を見だし、解決の方法を考える。	【知識・技能】 ・マーケティングを学ぶ意義を理解している。 【思考・判断・表現】 ・現代市場の課題を発見し解決のために積極的に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代市場の課題に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	8
マーケティング環境の分析・消費者行動の理解 【知識及び技能】 ・SWOT分析について理解 ・消費者の心理と行動、購買意思決定を理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代市場における課題を発見 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代市場においてビジネスを展開する力を養うため協働的に取り組む。	・SWOT分析について理解し、関連する技術を学ぶ。 ・消費者の心理や購買意思決定までの過程や影響を与える要因について理解させる ・現代市場の課題を見だし、解決の方法を考える。	【知識・技能】 ・SWOT分析について理解し、具体的な事例を分析できる。 ・消費者の心理や消費者行動について理解している。 【思考・判断・表現】 ・SWOT分析について具体的な事例で主体的に分析できる。 ・現代市場の課題を発見し解決のために積極的に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代市場の課題に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	6
1 学期 中間考査 (授業内)			○	○		1
市場調査・STP 【知識及び技能】 ・市場調査についての理解 ・STP分析についての理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代市場における課題を発見 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代市場においてビジネスを展開する力を養うため協働的に取り組む。	・市場調査について理解させる。 ・STP分析を理解し、関連する技術を学ぶ。 ・現代市場の課題を見だし、解決の方法を考える。	【知識・技能】 ・市場調査について理解している。 ・STP分析について企業における事例を理解している。 【思考・判断・表現】 ・STP分析について主体的かつ協働的に取り組んでいる。 ・現代市場の課題を発見し解決のために積極的に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代市場の課題に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	8
製品政策 【知識及び技能】 ・製品政策についての理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代市場における課題を発見 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代市場においてビジネスを展開する力を養うため協働的に取り組む。	・製品政策について企業における具体的な事例について理解させる ・売上高予測、損益分岐点などの計算方法を学ぶ。 ・現代市場の課題を見だし、解決の方法を考える。	【知識・技能】 ・製品政策における課題について理解している。 ・売上高予測、損益分岐点などの計算ができる。 【思考・判断・表現】 ・現代市場の課題を発見し解決のために積極的に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代市場の課題に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	6
期末考査 (授業内)			○	○		1
2 学期 価格政策 【知識及び技能】 ・価格政策についての理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代市場における課題を発見 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代市場においてビジネスを展開する力を養うため協働的に取り組む。	・価格政策について具体的な事例について理解させる。 ・コストプラス法による価格設定の計算を学ぶ。 ・現代市場の課題を見だし、解決の方法を考える。	【知識・技能】 ・価格政策における課題について理解している。 ・コストプラス法による価格設定の計算ができる。 【思考・判断・表現】 ・現代市場の課題を発見し解決のために積極的に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代市場の課題に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	11
中間考査 (授業内)			○	○		1
チャネル政策・プロモーション政策 【知識及び技能】 ・チャネル政策についての理解 ・プロモーション政策についての理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代市場における課題を発見 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代市場においてビジネスを展開する力を養うため協働的に取り組む。	・チャネル政策について具体的な事例について理解させる。 ・プロモーション政策について具体的な事例について理解させる ・現代市場の課題を見だし、解決の方法を考える。	【知識・技能】 ・チャネル政策における課題について理解している。 ・プロモーション政策における課題について理解している。 【思考・判断・表現】 ・現代市場の課題を発見し解決のために積極的に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代市場の課題に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	11
期末考査 (授業内)			○	○		1
3 学期 マーケティングのひろがり 【知識及び技能】 ・マーケティングのひろがりについての理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代市場における課題を発見 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代市場においてビジネスを展開する力を養うため協働的に取り組む。	・マーケティングのひろがりについて具体的な事例について理解させる。 ・商品回転率の意味と計算を学ぶ。 ・企業の資金・財政について理解する。 ・現代市場の課題を見だし、解決の方法を考える。	【知識・技能】 ・マーケティングのひろがりの課題について理解している。 ・商品回転率などの計算ができ、意味を理解している。 ・企業の資金や財政について理解し、必要な計算ができる。 【思考・判断・表現】 ・現代市場の課題を発見し解決のために積極的に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代市場の課題に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	16
期末考査 (授業内)			○	○		70
						合計

